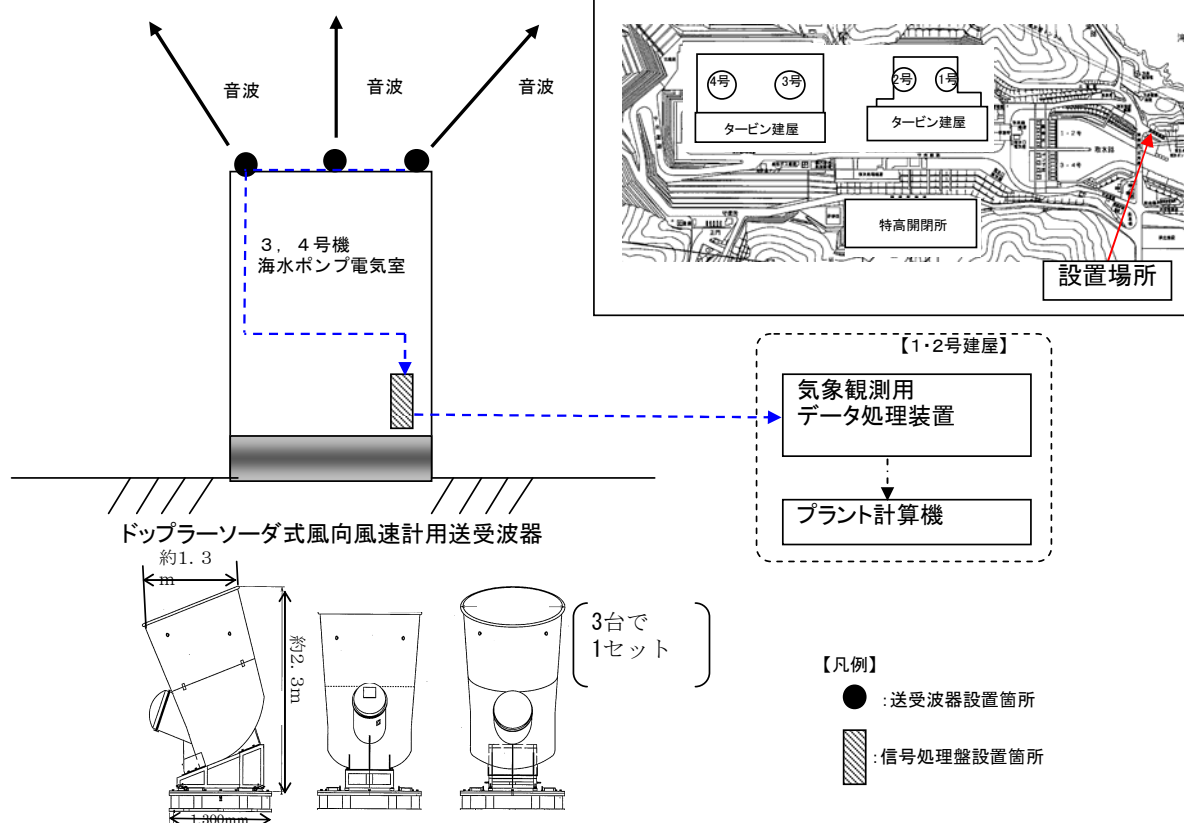


大飯発電所 気象観測装置設置工事

工事概要

鉄塔などの高所に設置された風向風速計などの点検保守負担低減のため、地上付近で測定が可能なドップラーソーダ式風向風速計を3、4号機海水ポンプ電気室の屋上に設置する。

概要図



※:ドップラーソーダの測定原理

上空の大気が静止した状態で音波を送信した場合は、音波の送信周波数と受信周波数（送信場所と同場所での受信）は一致するが、大気が動いている状態で音波を送信すると、上空の大気温度や風の微細な変化により、音波が散乱し、その一部が送信場所へ戻ってくるが、ドップラー効果により、風速に応じて、送信周波数と受信周波数にずれが生じる。ドップラーソーダは、この周波数のずれ量を検出して、風向・風速を測定する。

【実施状況】
＜今年度実施プラント＞
大飯発電所（工期：H21.6～H21.7）